

平成29年3月29日  
J A グループ 京都

株式会社京山への中国産米にかかる調査の中間報告について【第14弾】

本会はこれまでに、中国産米の混入があったとされる(株)京山の米について、ダイヤモンド社が購入して検査したものと同日に製造された同じ商品（「京都丹後こしひかり」「滋賀こしひかり」「魚沼産こしひかり」）を検査に提出し、一般財団法人日本穀物検定協会より、全て「日本産」・「コシヒカリ」であるとの結果を得ております。

このたび、本会は、ダイヤモンド社が米の分析を依頼した検査機関である「株式会社同位体研究所」および民間の検査機関「ビジョンバイオ」に、日本穀物検定協会で「日本産」と結論付けられた「滋賀こしひかり」、「魚沼産こしひかり」、および産地が明確な種子を精米したもの合わせて5点を検査依頼・提出いたしましたので、ご報告いたします。

検査結果については、判明し次第、ご報告することとしております。

精米A

精米B

精米C

精米D

精米E

精米A 精米B 精米C 精米D 精米E

注釈: 検査提出用のサンプル

平成29年3月26日 16:28  
撮影場所: 榊京山 本社  
撮影者: 稲葉征二

監査士 森川大輔

㈱京山職員

㈱京山職員

川端伸也 弁護士  
元最高検察庁検事  
元盛岡地検・岡山地検・  
札幌地検各検事正

監査士 山下義昭

注釈: サンプル米封印の様子

平成29年3月26日 16:32  
撮影場所: ㈱京山 本社  
撮影者: 稲葉征二

監査士 山下義昭

注釈: サンプルを梱包する山下監査士

平成29年3月26日16:33  
撮影場所: ㈱京山 本社  
撮影者: 稲葉征二